



# 災害時被害調査システムで効率的・着実な調査を!



『災害時被害調査システム』を活用した「**農地・農業用施設**」の被害調査

## これまでの「大規模災害」時における課題

- 応援で現地調査へ行った職員は**土地勘も無く**、**被災箇所**の特定に苦慮
- 被災箇所の**調査漏れ**や**把握に手間取り**、**同一箇所**で**複数回の現地確認**が発生
- **紙資料**での情報管理により**集計、集約作業**に苦慮

## 導入の効果



タブレット端末の活用



デジカメ  
調査用紙  
道路地図  
オルソ図

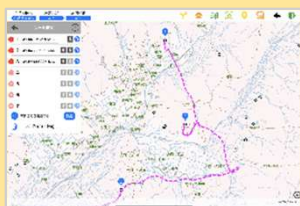


- タブレット端末のGPS機能により、**現在地**や**調査箇所**を**随時特定**
- 位置情報の一元管理により、**調査方針**や**効率的な調査**を実施（**漏れ、重複防止**）
- タブレット登載の**オルソ図**、**写真撮影アプリ**、**被害額算定シート**の連動により、**被災箇所図**、**被害額集計**、**被災状況資料**の**早期作成**、**集約**が可能
- 査定設計書作成に向けた**現地測量作業等への移行**が**スムーズ**

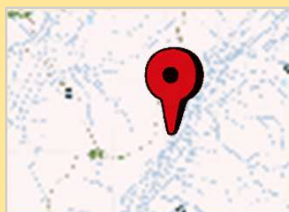
## 災害時被害調査システム（タブレット）の機能



### ① 現地案内機能による移動



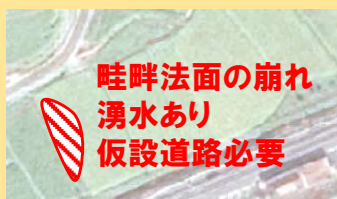
### ② 被災箇所の登録



### ③ 被害状況等の撮影記録

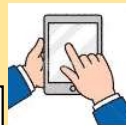


### ④ 衛星・道路地図等へ描き込み



### ⑤ 被害額算定シートの入力

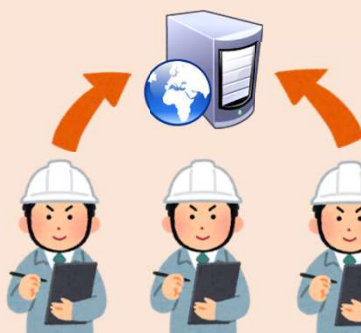
被害額簡易算定シート	
調査日	令和2年1月21日
調査者	test
箇所番号	2019-山口-203-203-iPad-1-1
所在地	市町 山口市
字名、地名等	test
工種	農地
区分	田
面積	1.25 m
高さ	1.3 m
変位高さ	3.45 m



- 工種  
農地、水路、道路 等
- 復旧工法  
ブロック積、フトン籠、  
排土 等
- ※ 目視による概ねの**被災延長・高さ**を入力

## 調査及びデータ集約・活用の流れ

- ① 被害調査した情報を、共有サーバに**アップロード**
- ② **災害集計データベース**に登録  
被災箇所、被害概要を集約
- ③ **被害集計**や**被災状況資料**作成  
**迅速な報告・協議**に活用



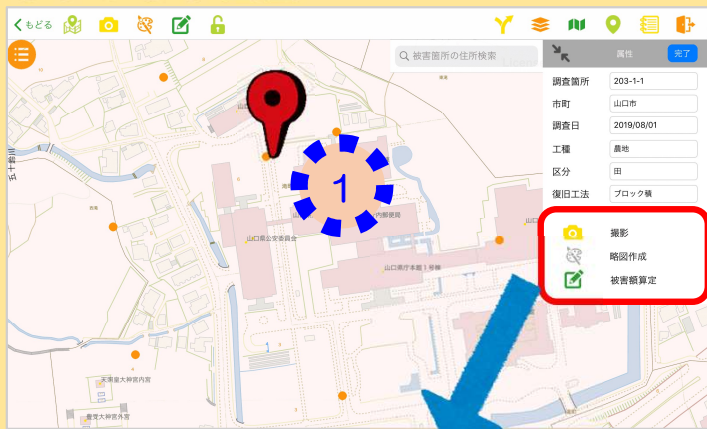
詳しくは、山口県農村整備課（083-933-3413）までお問い合わせ下さい。

# 災害時被害調査システム



- 登録箇所と、写真や被害額情報が紐付けされます。
- 復旧工法は基本的なもののみ、設定しています。
- 概ねの延長や高さの入力で被害額算定できます。

## タブレット画面



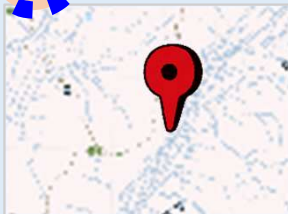
1

- 撮影
- 略図作成
- 被害額算定

## 被害時箇所ごとのデータ

1

箇所登録



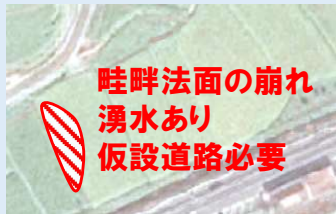
2

写真撮影



3

略図作成



4

被害額算定

被害額簡易算定シート

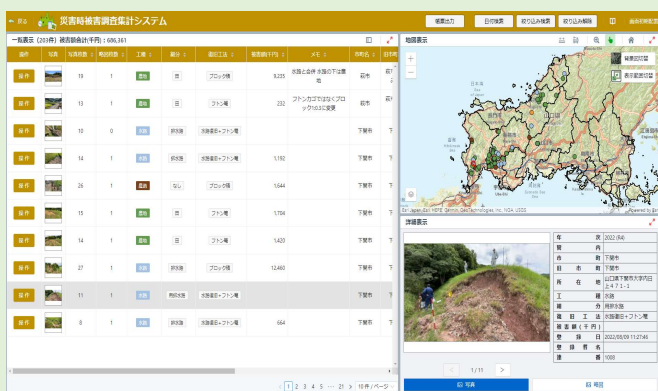
調査日	令和2年1月21日
調査者	test
箇所番号	2019-山口-203-203-IPad-1-1
所在地	赤町 山口市
字名、地名等	test
工種	農地
区分	田
延長	1.3 m
高さ	3.45 m



- 2 写真撮影
- 3 略図作成
- 4 被害額算定

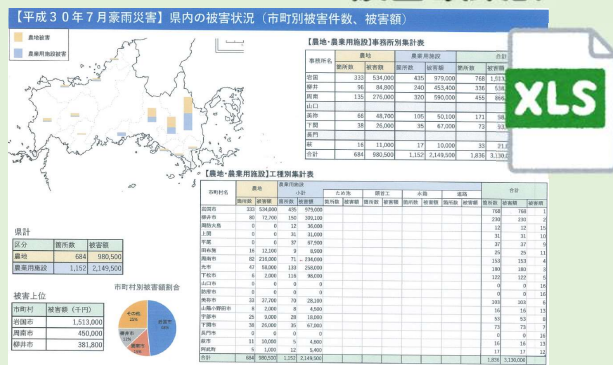
現地での作業が完了した項目はグレー表示

## 共有サーバ



## 集計システム

## 被害額集計



## 被害状況図作成

- エクセル、パワーポイントで出力できます。
- 出力後、編集作業が可能です。

報告、協議  
に活用！



詳しくは、山口県農村整備課 (083-933-3413) までお問い合わせ下さい。